



Adobe LiveCycle Mobile 9.5

Adobe® LiveCycle® Mobile 9.5 では、モバイルデバイスを使用してビジネスプロセスを開始したり、ビジネスプロセスに参加したりできます。さらに、iOS (Apple® iPhone® および iPad) ユーザーは、組織の WebDAV サーバーに保存されているファイルを参照する、開く、および電子メールで送信することもできます。

このドキュメントでは、LiveCycle Mobile 9.5 ソリューションを組織で実装する方法について説明します。

LiveCycle Mobile 9.5 アプリケーションの使用について詳しくは、以下を参照してください。

- [Adobe LiveCycle Mobile 9.5 Android スタートガイド](#)
- [Adobe LiveCycle Mobile 9.5 BlackBerry スマートフォンスタートガイド](#)
- [Adobe LiveCycle Mobile 9.5 iOS スタートガイド](#)
- [Adobe LiveCycle Mobile 9.5 Windows Mobile スタートガイド](#)

対象

Adobe LiveCycle Mobile 9.5.2

2011 年 1 月 28 日

目次

システム要件	2
Android デバイスでのアカウントの自動検出の設定 ...	3
LiveCycle Mobile 9.5 のリバースプロキシの設定 ...	4
セキュリティに関する考慮事項	5
フォームのデザイン	5
プロセスの作成	6
管理設定	6

システム要件

モバイルデバイスの要件

モバイルデバイス	要件
Android™	Android 2.0 以上。 Android デバイスには SD カードが必要です。
BlackBerry® スマートフォン	BlackBerry Device Software v4.2.1 以上。
iPhone	iOS 4.2 以上を実行している iPhone 3G、iPhone 3GS、iPhone 4、iPad。
Windows Mobile	Windows Mobile 6.1。最小ハードウェア要件は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">● 128 MB RAM● 400 MHz プロセッサ

LiveCycle の要件

LiveCycle Mobile 9.5 を使用するには、Adobe LiveCycle Enterprise Suite 2 (ES2) または LiveCycle Enterprise Suite 2.5 (ES2.5) を正しくインストールして設定する必要があります。必要なバージョンおよびモジュールは、使用する LiveCycle Mobile 9.5 の機能によって異なります。

タスク機能を有効にするには：

- 次のモジュールを含む LiveCycle ES2 または LiveCycle ES2.5
 - LiveCycle Process Management 9
 - LiveCycle Forms 9 (タスクの詳細画面での PDF ファイルの表示に使用)

フォーム機能を有効にするには：

- 次のモジュールを含む LiveCycle ES2.5
 - LiveCycle Process Management 9
 - LiveCycle Forms 9
 - LiveCycle Workbench 9.5 (ガイドの作成に使用)

ドキュメント機能を有効にするには (iOS のみ)：

- LiveCycle Content Services (または Microsoft® SharePoint 2010 を使用できます)

LiveCycle ES2 のインストールと設定の方法については、[LiveCycle ES2 ドキュメントのページ](#)を参照してください。また、このページから他の製品のバージョンのドキュメントにアクセスすることもできます。

WebDAV の要件

iOS ユーザーが「ドキュメント」機能を使用できるようにするには、Adobe LiveCycle Content Services 9 や Microsoft® SharePoint 2010 などの WebDAV サーバーを正しくインストールして設定する必要があります。LiveCycle Content Services 9 のインストールと設定の方法については、[LiveCycle ES2 ドキュメントのページ](#)を参照してください。

LiveCycle 管理者は、LiveCycle ContentSpace ユーザーロール (または ContentSpace コンソールへのログイン権限を持つ別のロール) をすべての Content Services Mobile ユーザーに割り当てる必要があります。ユーザーへのロールの割り当てについては詳しくは、LiveCycle ES2 管理ヘルプの「[ロールの作成および設定](#)」を参照してください。

以前のバージョンのアプリケーションとの共存

次のいずれかのクライアントアプリケーションが既にインストールされているデバイスに Adobe LiveCycle Mobile 9.5 をインストールできます。

- Adobe LiveCycle Workspace ES2 Mobile Client for BlackBerry Smartphones
- Adobe LiveCycle Workspace ES2 Mobile Client for iPhone
- Adobe LiveCycle Content Services Mobile for iPhone

注意： Windows Mobile ユーザーは、Adobe LiveCycle Mobile 9.5 をインストールする前に、以前にインストールした Adobe LiveCycle Workspace ES2 Mobile Client for Windows Mobile を削除する必要があります。

Windows Mobile デバイスでの言語の制約

Windows Mobile デバイスでは、フォームへのデータ入力に使用する言語とデバイスの OS の言語は一致している必要があります。例えば、日本語版 OS では日本語データを入力できますが、英語、フランス語、ドイツ語版の OS では日本語データを入力できません。

Android デバイスでのアカウントの自動検出の設定

モバイルユーザーは、LiveCycle サーバー名およびポートを含む、LiveCycle ユーザーアカウントへの接続を設定する必要があります。ユーザーが Android デバイスを使用している場合は、自動設定を有効にして、ユーザーが電子メールアドレスとパスワードを入力するだけで済むようにすることが可能です。LiveCycle Mobile 9.5 for Android では、ドメインの DNS 情報を検出し、ユーザーのアカウントのサーバー情報を取得できます。LiveCycle Mobile 9.5 for Android で自動設定を有効にするには、DNS サービス (SRV) レコードを設定する必要があります。

DNS サービス (SRV) レコードの設定

SRV レコードは、ドメインネームシステム (DNS) におけるデータの種類であり、特定のサービスに関する接続の詳細を指定します。サービスエンドポイントの設定に SRV レコードを使用すると、ユーザーが行うエラーの発生しやすいプロセス (ホスト名やポート番号などの入力) を簡略化できます。

SRV レコードの形式は次のとおりです。

```
_service._proto.name TTL class SRV priority weight port target
```

LiveCycle では service、proto、port および target の各フィールドを使用するので、LiveCycle Mobile 9.5 for Android の一般的な DNS SRV レコードは次のようになります。

```
_livecycle._tcp.yourco.com 86400 IN SRV 0 5 443 livecycle.yourco.com
```

上記のステートメントは、「bob@yourco.com は、livecycle.yourco.com サーバー上のポート 443 に対する SSL を使用して LiveCycle に接続する必要がある」ことを意味します。

LiveCycle Mobile 9.5 では、SRV レコードの port フィールドを解釈して、SSL を接続に使用する必要があるかどうかを決定します。このクライアントが検出する一般的な SSL port フィールドには 443、8443 および 9443 が含まれます。

隠ぺいによるセキュリティ

多くの場合、ルートドメインに SRV レコードを配置するのは望ましくありません。これは、ネットワークプロキシに関するより多くの情報を攻撃者に与える可能性があるためです。これを問題とみなす場合は、例えば、サブドメインで照会される場合にのみ SRV レコードが返されるように SRV レコードで指定することができます。例えば、次のように指定します。

```
_livecycle._tcp.somesubdomain.yourco.com 86400 IN SRV 0 5 443  
livecycle.yourco.com
```

上記のステートメントは、「bob@somesubdomain.yourco.com は、livecycle.yourco.com サーバー上のポート 443 に対する SSL を使用して LiveCycle に接続する必要がある」ことを意味します。

LiveCycle Mobile 9.5 for Android では、電子メールアドレスの形式を識別子として使用して、ユーザーの ID (上記の例では「bob」) および SRV レコードを照会するためのドメイン名 (somesubdomain.yourco.com) を簡単に収集することができます。会社の電子メールを受信するためのアドレスとは異なる電子メールアドレスを使用するようにユーザーに通知できます。また、関連のないドメイン (例えば、bob@yourco-net-cfg.org) に SRV レコードを配置することもできます。

DNS SRV レコードによってシステムのセキュリティが危険にさらされることはありませんが、公開しない方がよいホスト名が公開される可能性があります。

LiveCycle Mobile 9.5 で使用されない DNS SRV の要素

DNS SRV では、priority フィールドと weight フィールドを使用して高可用性をサポートします。この機能は、接続の詳細を解決するために実行時に DNS SRV を頻繁に使用する SIP や XMPP などのサービスに役立ちますが、自動設定タスクには役立ちません。このため、LiveCycle Mobile 9.5 では、検索する service と proto の組み合わせとして最初の SRV レコードを使用します。

DNS SRV について詳しくは、Wikipedia® の [SRV レコード](#) に関するページを参照してください。

LiveCycle Mobile 9.5 のリバースプロキシの設定

組織において、LiveCycle Mobile 9.5 を実行しているサーバーの前にリバースプロキシが必要な場合 (例えば、LiveCycle サーバーの詳細をクライアントに隠す場合など) は、プロキシから LiveCycle を実行しているホストに次の URL を転送する必要があります。SSL 接続を使用する場合は、URL の先頭を https にしてください。

- <http://<server>:<port>/rest/services/lc-pm-mobile.listTasks>
- <http://<server>:<port>/rest/services/lc-pm-mobile.listProcesses>
- <http://<server>:<port>/rest/services/lc-pm-mobile.getTaskDetail>
- <http://<server>:<port>/rest/services/lc-pm-mobile.getTaskCount>
- <http://<server>:<port>/rest/services/lc-pm-mobile.completeTask>
- <http://<server>:<port>/rest/services/lc-pm-mobile.getTaskCount>
- <http://<server>:<port>/rest/services/lc-pm-mobile.getFlattenedPDF>
- <http://<server>:<port>/rest/services/lc-pm-mobile.getImage>
- <http://<server>:<port>/rest/services/lc-pm-mobile.dismissDeadlinedTask>
- <http://<server>:<port>/contentspace/webdav/>

それぞれの URL では、HTTP GET または HTTP PUT を使用して複数の URL パラメータを受け取ります。例えば、次のように指定します。

```
http://<server>:<port>/rest/services/lc-pm-mobile.listTasks?start=0&count=15&includeSharedTasks=true
```

上記の例は、HTTP POST を使用する場合と同様に、タスクリストにアクセスする際に有効な URL です。

リバースプロキシについて詳しくは、Wikipedia の [リバースプロキシ](#) に関するページを参照してください。

セキュリティに関する考慮事項

LiveCycle Mobile 9.5 はネイティブアプリケーションであり、上記のサーバーの場所にもみ接続します。SSL を使用してこのような HTTP 接続を保護することをお勧めします。

ユーザーは、LiveCycle サーバーへの接続時に必ず SSL を使用する必要があります。SSL を使用しない場合は、ユーザー名とパスワードが base64 でのみエンコードされるので、この種の情報が安全に送信されません。

フォームのデザイン

LiveCycle Mobile 9.5 では、ユーザーからデータを収集するためのガイドの使用をサポートします。LiveCycle Mobile で使用するガイドの作成について詳しくは、[LiveCycle Workbench 9.5 Help](#) を開き、「Creating Guides」の「Guides on mobile devices」を参照してください。

ベストプラクティス

LiveCycle Mobile 9.5 で使用するガイドを作成する際のベストプラクティスには次のようなものがあります。

- Windows Mobile デバイスでは、追加/削除/コピー機能を使用できません。Windows Mobile デバイスでは、最初のインスタンスをインタラクティブに操作できますが、その他のインスタンスを追加することはできません。
- BlackBerry スマートフォンでは、日付フィールドのドロップダウンリストに 10 年分の期間しか表示されません。必要な年がリストに含まれていない場合は、最も近い年を選択する必要があります。これにより、新たな 10 年分の期間が読み込まれます。目的の年が表示されるまで、この操作を繰り返してください。
- モバイル環境では、デフォルトのランタイムを使用している場合、一部の FML モデルが原因でランタイム例外が発生します。
 - FML モデルで空の配列や `double[]` 型または `float []` 型の整数リテラルを使用しないでください。
 - `chr()` 関数は使用しないでください。
- LiveCycle Workbench の Mobile のプレビュー機能はシミュレーションであり、100% 正確なものではありません。プレビューでは実際のデバイスと同じ HTML および CSS を使用しますが、プレビューに使用されるブラウザでは、これらの標準のサポートレベルが異なる場合があります。

フォームへの写真の追加

Guide Builder でガイドを作成する場合は、テキストフィールドを追加し、画像フィールドとして表示するコントロールタイプを設定できます。

ユーザーがフォームに入力するときは、デバイスのカメラを使用して、フォームに埋め込む写真を撮影することができます。この機能は、Web ブラウザにおけるガイドの動作とは少し異なります。Web ブラウザの場合、ユーザーはハードドライブから既存の写真を選択できます。

注意：現時点では、iPad または BlackBerry Device Software v4.2.1 を実行するデバイスでこの機能を使用することはできません。

ユーザーが Android デバイスを使用して写真を撮影すると、GPS 位置データが EXIF メタデータとして画像内に埋め込まれます。デバイスで「GPS Satellite」が有効な場合、LiveCycle Mobile 9.5 では、その GPS 衛星をプロバイダとして使用して位置情報を取得しようとします。これにより、GPS 衛星からの電波をさえぎる障害物がなければ（屋外や乗り物の中にいる場合など）、非常に正確な位置情報が得られます。「GPS Satellite」が有効な状態であっても、室内または地下で写真を撮影する場合は、「GPS Satellite」(Settings / Location & Security) を無効にしない限り、GPS 情報を取得できる可能性が低くなります。「GPS Satellite」を無効にすると、アプリケーションでは WiFi または Geographic Messaging Service (GMS) を使用してユーザーの位置を確認します。

既存のガイドの移行

既存のガイドを LiveCycle Mobile 9.5 で使用可能なガイドに移行するには、次の手順を実行します。

1. LiveCycle Workbench 9.5 の Guide Design パースペクティブで既存のガイドを開きます。
2. 「Guide Runs On Mobile Devices」オプションを選択し、表示されるエラーと警告を確認します。
3. [LiveCycle Workbench 9.5 Help](#) の「Guide compatibility with mobile devices」に記載されている制限事項にガイドが従っていることを確認します。

注意： XFA フォーム / ガイドを移行することはできません。

プロセスの作成

モバイルデバイスで使用する LiveCycle プロセスの作成について詳しくは、[LiveCycle Workbench 9.5 Help](#) を開き、「Creating and managing processes」の「Creating processes using the New Process wizard」の「Configuring the Mobile start point」を参照してください。

管理設定

モバイルデバイスでフォームを表示するユーザーには、そのフォームに対応するモバイルプロセスでの呼び出し権限が必要です。

1. LiveCycle 管理コンソールを開き、サービスの管理ページに移動します。LiveCycle 管理コンソールの使用について詳しくは、[LiveCycle ES2 管理ヘルプ](#)を参照してください。
2. モバイルプロセスの名前をクリックします。
3. 「セキュリティ」タブで、「呼び出し元の認証が必要」オプションが「はい」に設定されていることを確認します。
4. 「プリンシパルを追加」をクリックし、プロセスの使用を許可するユーザーとグループを選択します。



Adobe

Adobe Systems Incorporated

345 Park Avenue
San Jose, CA 95110-2704
USA
www.adobe.com/jp

Adobe, the Adobe logo, and LiveCycle are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. Apple and iPhone are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. Microsoft and SharePoint are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

© 2011 Adobe Systems Incorporated and its licensors. All rights reserved.

2011 年 1 月 28 日